

コーディネータープロフィール



かじや みつお
門屋 充郎 氏
 [精神保健福祉士]

特定非営利活動法人十勝障がい者支援センター
 理事長、相談支援専門員

日本福祉大学、帯広協会病院、国立武蔵療養所、大江病院にて精神保健福祉士を経て91年に帯広ケアセンター所長、07年から現職。その他に、帯広市障害

程度区分認定審査会会長、帯広市教育委員、福祉の広場運営委員会委員長、北海道自立支援協議会座長、内閣府障害者制度改革推進会議総合福祉部会委員。帯広マディソン協会会長。当事者の社会的地位の回復や社会参加に向け福祉活動を展開し、長年の功績から、06年保健文化賞表彰を受けました。当事者の視線を守りながら地域を見つめ、現在も活躍中です。

ロータリークラブ奉仕理念について

ロータリーの奉仕理念として、以下の二つの奉仕哲学があります。「Service above self」とは「超我の奉仕」といい、他人を思いやり他人のために尽くすことをさします。「One profits most who serves best」とは「最もよく奉仕するものは、最も多

く報われる」という意味で、われわれの職業は、金儲けをする手段ではなく、その職業を通じて社会に奉仕するために存在するとしています。以上の哲学を実践することが、ロータリークラブの活動です。

姉妹都市マディソン市について

帯広市と姉妹都市のウィスコンシン州の州都マディソン市では、あらゆるスティグマを持った人たちに、普通の生活を実現するため、それぞれの自己決定に応じた支援を提供しています。

各種のNPOが、本人や家族のスティグマからの回復を導き、生活習慣の違いを尊重し、希望と強さを育み、安定した生活を獲得できる様に支援をしています。

アンチ スティグマ

偏見や差別のない社会へ

—主催— 帯広ロータリークラブ
 —共催— 帯広市

後援 田舎市医師会 帯広市立総合病院 公益財団法人北海道作業療法士会十勝支部 山形県障害者協会 帯広市立総合病院 北海道福祉保健福祉士協会 十勝県医師会 帯広市立総合病院 十勝ロータリークラブ 十勝マディソンネットワーク 帯広市障害者協会 北海道福祉保健福祉士会 十勝県障害者協会 十勝県医師会 帯広市立総合病院 帯広市立総合病院 帯広市立総合病院



姉妹都市、マディソン市の州議事堂（アメリカ合衆国ウィスコンシン州）

参加申し込みについて

入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

参加ご希望の方は、はがき（単信）、FAX、〇〇〇〇〇のいずれかに

1、名前（必ず個人名を記入） 2、郵便番号・住所 3、電話番号 4、〇〇〇〇〇 5、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

を書いて、お申し込みください。

個人情報適切に管理し、フォーラム アンチスティグマの連絡のみに使用いたします。

お問い合わせ
お申し込み先

帯広ロータリークラブ事務局 〒080-0013 帯広市西3条南9丁目経済センタービル4F

TEL 0155-25-7347 / FAX 0155-28-6033

（平日 00:00～00:00）

（平日 00:00～00:00）

ホームページ <http://www.obihiro-rc.jp>

下記欄にご記入の上、そのままファックスをお送りいただいても結構です。

ふりがな	参加人数	＜ご一緒に参加される方のお名前＞
お名前	人	
住所 〒		
*勤務先住所の場合は、勤務先も忘れずにご記入ください。		
電話番号		